

## つきたい力

主体的な学びの実現をめざし、目的に応じてICT機器を活用する力を育成する。

## 取組みの概要・ポイント

- ・児童が身に付けるべき情報活用能力について児童用・教員用チェックシートを作成し、ICTのよりよい活用に対して児童が自ら目標を立てる手立てとした。
- ・授業で活用する時や前日の宿題等で、活用のポイントを自分で確認できる。

## 具体的な取組みの内容

### タブレットチェックシートの活用場面

#### ○チェックシート項目 「文字入力」



隙間時間を使って自分で練習。写真は「ぐんぐんアプリ」内の漢字タイピングコーナーを利用している様子。

#### ○チェックシート項目 「HPで調べる」



正しい検索の仕方や信頼性の判断の仕方を学ぶ。また、図書も積極的に活用し、それぞれのメリット・デメリットを理解した上で併用できるように。



児童用チェックシート 教員用チェックシート

#### ○チェックシート項目 「シンキングツール」



それぞれのシンキングツールの特徴を理解した上で、状況にあったツールを選択し考えを整理。シンキングツールでまとめたものを提示しながら発表する。

#### ○チェックシート項目 「プレゼンテーション」



相手意識をもってプレゼン資料を作成。また、聞き手の反応を見ながら発表する。

#### ○チェックシート項目 「アプリの活用」



理科の授業では、表計算ソフトの共同編集機能を使って、実験結果を共有。他の児童の実験結果も合わせて考察する。意見の交流場面では、ロイロノートの共有機能を使ってグループで話し合いを行う。

## 取組みを通しての子どもの変容

タブレットの活用の仕方について指示を待つだけでなく、身に付けるべきことに対して自ら積極的に取り組む児童が増えた。チェックシートのそれぞれの項目について、教員、児童とも、目的や基準をしっかりとったうえで利用できるようになった。授業だけではなく、学校生活がよりよくなるようなタブレットの活用の仕方を提案できる児童もいた。学期ごとにチェックシートへの回答状況を集約することで、児童の情報活用能力の状況を把握し、指導に生かすことができた。